19-03-14

## 平成最後の記念乗車券「平成の軌跡」を発売します

名古屋鉄道では、4月末日をもって31年の幕を閉じる「平成」時代を振り返り、平成時代最後の記念乗車券として、「平成の軌跡」を、4月1日から発売します。

本記念乗車券は、平成時代の31年間に新形式としてデビューした車両31種類の写真およびプロフィールと、同期間内に新規開業した4駅からの乗車券を、卓上カレンダー型フォトブックのデザインにしたものです。たて125mm、よこ120mmのサイズで重量感のある造りとなっており、卓上に置くことができます。

詳細は下記のとおりです。

記

- 1. 名 称 「平成の軌跡」記念乗車券
- 2. 発売期間 4月1日(月)~9月30日(月) ※なくなり次第終了
- 3. 内 容 ①平成時代の 31 年間に新形式としてデビューした全車両 31 車種の 写真とプロフィールをデザインしたカード 31 枚
  - ②同期間内に開業した 4駅からの乗車券をまとめたカード (大人用・小児用各 1 枚。裏面には開業当時の写真を配置しています。)
    - ●印場駅から大人300円、小児150円の乗車券
    - ●りんくう常滑駅から大人 630 円、小児 320 円の乗車券
    - ●中部国際空港駅から大人 580 円、小児 290 円の乗車券
    - ●南桜井駅から大人 550 円、小児 280 円の乗車券
  - ③卓上用フォトブックとしてご利用いただける台紙 (たて 125mm、よこ 120mm)
- 3. 発売金額 3,100円
- 4. 発売数 3,100 セット
- 5. 発売箇所 豊橋駅、東岡崎駅、豊田市駅、太田川駅、金山駅、栄町駅、 名鉄一宮駅、犬山駅、名鉄岐阜駅、名鉄名古屋駅サービスセンター





「平成の軌跡」記念乗車券 (フォトブック型)



**P成**動跡 2000系

2004(平成16)年に中部国際型指(愛称:セントレア)へのアクセス用特急として、2000系

単体外観は洋上空港へ高かう韓急車として、「空と博」の貢依なイメージから建想する「青と白と木の透明態」をコンセプトとして、平国所面をポリカーボネートで覆い透明感を持たせ、インパクトを与えるデザインとした。由端通速度向上による引速時分数量を図るための事体型斜射動を置き、文字・根像薬内が可能な接尾モータによる山内案内表示器を採用する等。早くて使利で投通な空港アクセス等急とするべく随所に最新の機器を装置した。空港へのアクセス特急であることが一見して分かるように、空港の要称である「Centrair」のロゴを継所に用いているがあることが一見して分かるように、空港の要称である「Centrair」のロゴを継所に用いている。「本人は18年に空歌アクセスのさらな奇様が力機像を図るため、新たに18両新造し3両組成から4両(3M)「相成)の12編成に増強され、空港駅のホームドア設置にどもなう対応機器が搭載された。Meitetsuの空港や急車減として「ミュースカイ」の要称で活躍している。ミュースカイは2005(平成17)年10月にグッドデザイン賞を受賞し、2006(平成18)年6月には鉄道友の会からロール・首を受賞した。

(おもて面) (うら面)

①カード 平成 16 年にデビューした 2000 系 (ミュースカイ)



※画像はすべてイメージです。